

「山王中学校生徒指導通信」～「志」が宿り、「いかに生きるか」を考えるために～

『命の山王』

No. 25 [2018年10月31日(水)]

挨拶（あいさつ）の力

うれしい話が聞こえてきました。学区内でパーマ屋さんを営むKさん（女性）から、教えていただいたものです。その話題の主は、近所に住んでいる山王中1年女子のNさんのことです。KさんはNさんと会うことが楽しみなのだそうです。その理由はNさんの挨拶（あいさつ）にあります。

朝Nさんに会うと、とびきりの笑顔で「おはようございます」と挨拶してくれます。「いってらっしゃい」と声を掛けると、いつも明るい声で「いってきます！」と返してくれます。もちろん、「おかえりなさい」は、元気な「ただいま！」です。

Kさんは、この挨拶の声を朝に聞くことができると、一日の始まりがとても清々しく感じられるそうです。心の癒しにもなっている、とも話していました。だからNさんと会えることを楽しみにしているのだそうです。

Nさんにとっては、当たり前のことなのかもしれません。しかし、自然にできることそのものが素晴らしいです。そして、ここで大切なことは、たった一人の挨拶でも、周りの人の心を明るくすることができる、ということです。また、人の心を清々しくしてくれる挨拶のできる人が、山王中にいるということに、うれしさを感じます。

最近の山王中生の挨拶は、明らかに変わってきています。自ら進んで声を出し、しっかりと頭を下げる生徒がどんどん増えてきています。私が見ても、朝から清々しさを感じる挨拶のできる生徒が何人もいます。これが定着し、一人一人が挨拶のしっかりできる人になっていけば、初めて会った人だとしても、その第一印象で確かな信頼が得られるはずで、逆に最初の挨拶がうまくできない人は、相手からの信頼を得るまでかなりの時間がかかるはずで、それだけ挨拶というものは、力のあるものなのだと思います。

挨拶にある力を改めて感じさせてくれたのが、そして挨拶の大切さを教えてくれたのが、Nさんです。話を聞いただけでもうれしいのですが、これが山王中全体に波及していってくれば、さらにうれしさは倍増します。明日から、誰かの心を清々しくしたり、癒やしたりすることができる挨拶を頑張ってみませんか？

〔生徒指導主事：木内記〕

「若人山王精神」物語その14

昨日、先週号にも書かせてもらいました、小学生体験入学を行いました。1年生がよく頑張りました。2、3年生の授業への案内、歓迎セレモニー、1年生吹奏楽部員の演奏伴奏による校歌の披露、各部の活動場所への案内など、その準備も含めて、本当に大活躍でした。おそらく小学生にとっては、忘れられない一日になったと思います。お疲れ様でした。

暖房入りました！

昨日、今シーズン初の暖房が入りました。天気予報ににれば、しばらくは寒い日が続くようです。寒い日は暖房も入れていくと思いますが、中着を厚着にしたり、登下校ではコートを着たりすることで、防寒に努めてほしいと思います。よろしくお願いします。